

# 「がんばり」と「やさしさ」があふれる学校づくりをめざして

下関市立向山小学校

## 学校運営協議会について

- ① 実施回数
  - ・年間3回（各学期1回：5月、11月、2月）
- ② 主な協議内容
  - ・学校課題の解決
  - ・学力向上への取組



【協議会の様子】

## 特色ある活動

### ◆ 向洋中学校区での合同実践

・「誰にでも自分からあいさつできる子どもの育成」をめざし、小中共通の取組として、「朝の合同あいさつ運動」を実施しました。毎月25日（ニコニコあいさつの日）に、向洋中学校生徒会執行部の生徒たちが来校し、正門付近で本校の生活委員を中心とした児童たちと一緒に、小学生や中学生、高校生、地域の方々に大きな声で元気にあいさつを行いました。



【朝の合同あいさつ運動】

### ◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

・各自治会や向洋地区スポーツ振興会、向洋地区まちづくり協議会と連携、協力を図りながら、児童の地域行事への積極的な参加に取り組んでいます。地域行事を通して、児童と地域のつながりの深化や、児童が地域のよさに気づき、地域に貢献しようとする態度の育成を図っています。



【地域主催の夏のラジオ体操】



【子ども神輿】



【門松づくり】

## 来年度に向けて

今年度も家庭科（調理や裁縫）、生活科（「昔遊びの会」、「お手伝いマスターになろう」）等の学習に、地域や保護者から多くのボランティアの方々にご参加いただき、支援をしていただきました。現在はすべてのボランティア活動の連絡、調整をCSコーディネーターが行っていますが、更なるボランティア活動の充実に向けて、今後はボランティア毎にリーダーを置き、各部のリーダーを中心としたボランティア活動の推進に向けた体制作りに取り組んでいきたいと考えています。

# 「地域とともにある学校」をめざして

下関市立向洋中学校

## 学校運営協議会について

本校では、近年、生徒数が減少傾向（平成 30 年度は 133 名、3 年 2 クラス、2 年 2 クラス、1 年 1 クラス、特別支援学級 3 クラス）にあり、生徒や教員、保護者の協力だけでは成り立ちにくい行事の継続が困難な面も出てきました。6 年前からコミュニティ・スクールを立ち上げての活動を行っていますが、それ以前から P T A 活動が盛んに行われており、保護者自身が P T A を卒業しても、O B として学校支援の形で様々な形での活動を行ってきました。

## 特色ある活動

今年度は、1 年生の技術科の授業の木工加工、家庭科の授業の調理実習では学校運営協議会を中心とする地域の方々に、各種技術指導や実習・作業の補助を積極的にしていただきました。

1 年生 34 名、のこぎりや包丁などを使う危険を伴う作業学習では教員の目が届きにくい場面があること、授業では短時間での能率の良い仕上げが必要とされているという学校側の悩みを提示したところ、木工作业で 3 名、調理作業で 7 名の方に支援に来ていただきました。その道のスペシャリストの大工さんもおられ、手際の良い動きに生徒達は感嘆の声をあげました。木工で製作したペン立ては、その後の授業で仕上げを行い、完成しました。調理実習では、できあがった食事を一緒に食べ、さらに交流を深めることができました。

また、進路選択を控えた 3 年生にとって、受験時の面接試験のウエイトは高いものの、学校の教員以外の方から指導を受けることはありませんでした。今回、6 名の方が支援に協力してくださり、3 年生一人ひとりに懇切丁寧に指導していただきました。アドバイスの視点は、「元気のよいあいさつ」「きちんとした礼」「元気と自信をもつこと」でした。教員以外からのアドバイスなので、生徒達には新鮮かつ緊張感をもって受け止めることができました。



## 来年度に向けて

3 学期には、今度は魚の捌き方を中心に、1 年生の調理実習を予定しています。先日の授業に参加して頂いた方々からは、非常に前向きな協力体制のお返事をいただいています。

生徒にとって、地域の方々にとって、そして教員にとっても充実感があり、喜びがあり、やり甲斐や自己有用感のある WinWinWin の関係の中での活動のサイクルができていました。社会に開かれた教育課程の実現を目標に、来年度は技能教科や総合的な学習のみならず、他の授業やそれ以外の形での協力体制を築いていくとともに、中学生が地域に出て行つての活動や関わり、ある意味での伝統の継承にも役立てていけたらと考えています。